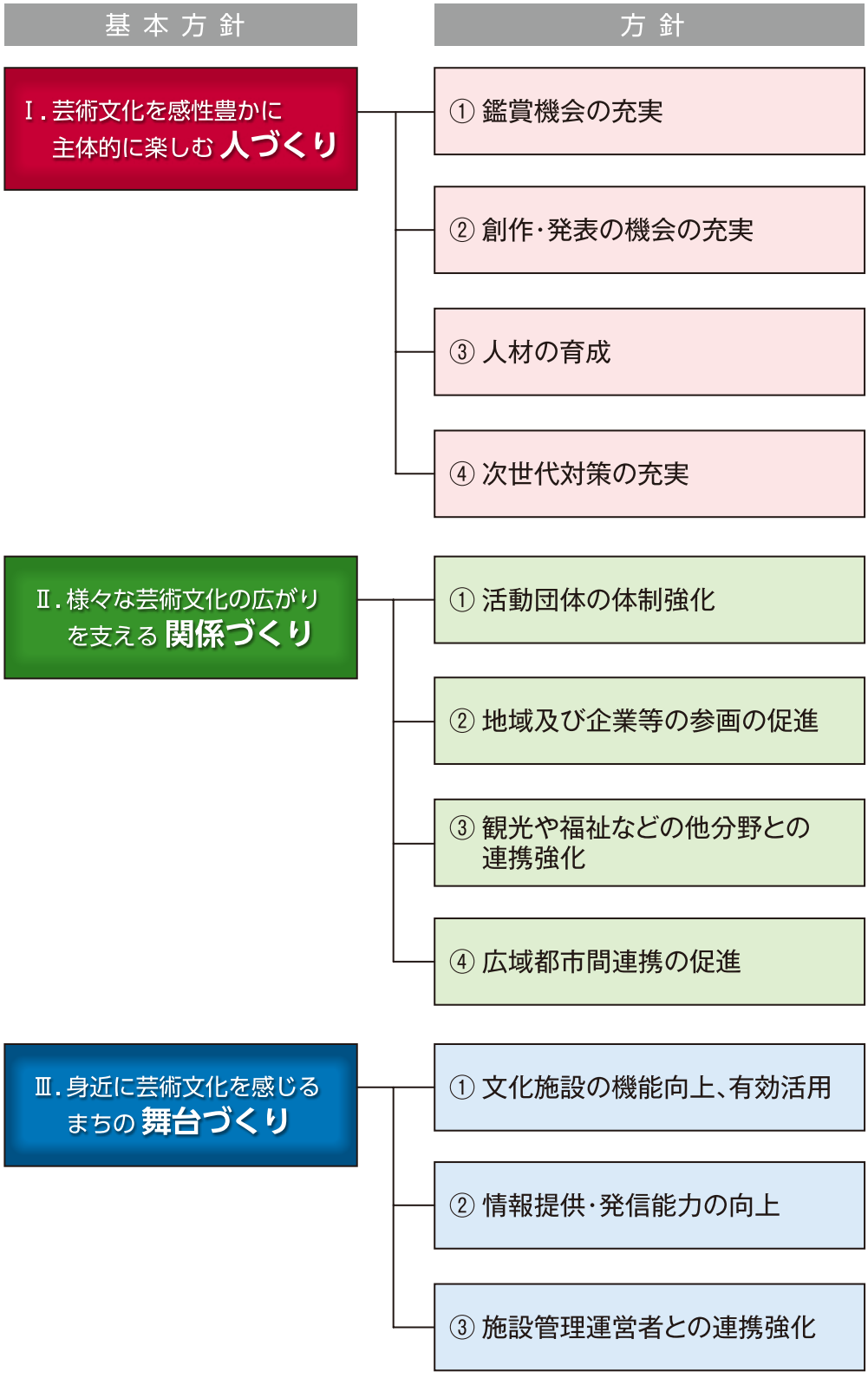
5. 基本方針の展開

(1)方針の体系

「人づくり」、「関係づくり」、「舞台づくり」の３つの基本方針に基づく方針の体系的な位置づけを行います。



Ⅰ．芸術文化を感性豊かに主体的に楽しむ人づくり

①鑑賞機会の充実

○市民会館をはじめ、市民交流センター（ふじざくら）、秩父宮記念公園、富士山交流センター（富士山樹空の森）、東山旧岸邸などの芸術文化の提供に係る主要施設においては、引き続き、様々な分野における優れた芸術文化を鑑賞できる機会の充実を図ります。また、市民会館等での公演会や展覧会のほか、イベントやシンポジウム等の機会を通じて、優れた芸術文化に触れることの大切さ・楽しさについて、意識の向上を図っていきます。

○市内の質の高い活動を行っている団体の協力を得て、団体にとっての発表機会の創出（支援）と、市民にとっての鑑賞機会の創出をセットとした取り組みを進めていきます。市内の身近な団体を活用する（協力を得る）ことで、より親しみを感じ（気軽に）本物に触れる機会を充実（回数を増やす等）していきます。

②創作・発表の機会の充実

○より能動的に芸術文化を親しむ・楽しむ（創作・発表等）市民の裾野を広げるため、子どもから高齢者までの様々な世代のニーズやバランスを考慮しながら、各種の教室・講座の充実を図ります。特に、初心者向けの教室・講座（出前講座等を含む）の充実を図ります。

○初心者向け教室・講座の後の市民ニーズに対するフォロー（レベルアップや活動継続等）に関しても充実を図っていきます。

○市民芸術祭の活性化と参加促進を図ります。

○活動団体、個人等が創作・発表しやすい環境づくりについて検討を進めます。

市民芸術祭

ごてんばアート作家展

③人材の育成

○市民の芸術文化活動を支援していくことができる高い専門性を有する人材（指導者）の発掘と活用を進めます。また、人材（指導者）の活用を促進するための仕組み（登録制度等）の整備に努めます。

○芸術文化活動の企画・運営等の専門的な知識や能力を持つ人材（アートマネージャー等）の育成に努めていきます。

○市民の芸術文化活動を様々な場面で側面的に支援する（側面支援という形で芸術文化活動への関わりを持とうとする）市民の育成・活用を進めます。

④次世代対策の充実

○人生を通じて心の豊かさを高めていくのに、子どもの頃から様々な芸術文化に触れることはとても大切です。子どもの成長段階に応じて、子どもたちが優れた芸術文化に触れることができる機会の充実を図ります。そのために、文化協会や活動団体、専門家、学校等の市内関係者・団体が連携したサポート体制を整備し、計画的・継続的な対応を進めます。

○子ども・親子向けの優れた芸術文化プログラム（鑑賞、体験等）の充実を図ります。また、子どもたちを対象に、鑑賞マナー等を含めて、芸術文化の楽しみ方や芸術文化が身近にある暮らしの素晴らしさなどの意識啓発を進めます。

○教育機関等（幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校）では、学習活動や課外活動の中で、芸術文化に関わる取り組みの充実に努めます。また、教育機関等の連携による合同の鑑賞機会の確保（効率的な事業実施）や、活動団体・地域住民等との協働による事業の展開を図ります。

市民芸術祭　ジュニアフェスティバル

カルチャースクール　こども教室

Ⅱ．様々な芸術文化の広がりを支える関係づくり

①活動団体の体制強化

○活動団体の実態を把握し、各団体に対する支援のあり方の検討など、活性化に向けた効果的な支援（きめ細かな支援）の体制を整備していきます。

○市民の芸術文化活動の裾野の拡大や多彩な活動展開を促進していくため、新しい活動団体の育成や個人の活動に対する支援のあり方について検討を進めます。

○活動団体の会員数の減少等が進む中、類似団体の連携・交流を促進するなどして、活動の活性化や質的向上に努めていきます。

②地域及び企業等の参画の促進

○地域内での特色ある芸術文化活動の活性化（地域活動としての活性化）を促進していきます。

○地域における芸術文化振興の体制づくり、支援のあり方について検討していきます。

○各地域の現状を考慮しながら、地域を越えた連携や交流（芸術文化の領域に基づく取り組みの活性化）についても促進していきます。

○企業等に対しては、芸術文化活動への支援や芸術文化を活かしたまちづくりへの貢献についての働きかけを行います。

高根どんたく

富士岡地区文化祭

③観光や福祉などの他分野との連携強化

○観光や福祉などの他分野との連携体制を強化し、人材や資源の効率的･効果的な活用とノウハウの共有化を図り、他分野への波及・相乗効果を考慮した芸術文化の振興を進めます。

○高齢者の生きがいや障害者の自己実現に結びつく芸術文化の振興に努めます。

④広域都市間連携の促進

○広域の芸術文化特性を本市の芸術文化振興に活かしていくため、芸術文化面における周辺都市との連携のあり方について検討していきます。

東山旧岸邸　秋のコンサート

秩父宮記念公園　お茶会

Ⅲ. 身近に芸術文化を感じるまちの舞台づくり

① 文化施設の機能向上、有効活用

○市民会館は、本市の芸術文化活動の拠点施設として、より一層の機能の向上と有効活用を図ります。また、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、施設のバリアフリー化や予約システムの改善等を進めます。日常の維持管理・運営に関しては、施設管理運営者が培ってきたノウハウを活かして効率的に行っていきます。

○各地区の集会施設等については、その利用目的や機能等に配慮しながら、地域の芸術文化活動の場として活用を促進します。

○芸術文化の提供に係る市民交流センター（ふじざくら）、秩父宮記念公園、富士山交流センター（富士山樹空の森）、東山旧岸邸などの主要施設においても、市民の芸術文化活動を促進していくための利便性の向上に努めていきます。

② 情報提供・発信能力の向上

○市民の多様な要望・需要に応じた効果的な情報の提供・発信を行っていくため、引き続き広報やインターネットホームページ、パンフレット、情報誌等の様々な情報媒体の有効活用を図りながら、他の分野との連携も含めて、情報提供・発信の体制について整理・構築を検討していきます。

○市民に芸術文化への関心・興味を高めてもらえるよう、市民啓発を意識した情報提供・発信に努めていきます。

○市の拠点施設である市民会館と中核組織である文化協会は、市民や構成員だけでなく、市外県外も対象とし、施設・団体を含めた本市の芸術文化活動全般に関わる紹介・アピール等も意識した情報面の機能強化を図っていきます。

③施設管理運営者との連携強化

○市と施設管理運営者間の緊密な連携を図り、市芸術文化振興方針の共有とそれに基づく効果的な施策・事業を、施設管理運営者が培ってきたノウハウを活かしながら推進していきます。また、施策・事業の成果を確認し有効な改善につなげていくため、モニタリング等の事業評価制度の適切な運用を図ります。

○市内外の関連する施設管理運営者相互の連携・調整を図りながら、芸術文化を推進するための施設の有効利用や効果的な施策・事業の展開を図ります。

東山旧岸邸

富士山交流センター（富士山樹空の森）

(2)担い手の役割

市民、活動団体、専門家・指導者、施設管理運営者、行政等の各主体には、御殿場市における芸術文化振興の担い手として、次のような役割が期待されます。

また、各主体はそれぞれの役割の発揮とともに、相互の連携強化に努め、市全体の芸術文化の振興に「協働」で取り組んでいく体制を築いていきます。

①市民

○芸術文化の振興は、市民一人ひとりの自主的な活動が原点となります。創作・発表を行う側及び鑑賞・体験する側として、あるいは両者を橋渡しする側としてなど、市民一人ひとりが芸術文化振興の様々な関わり方を進めていくことが期待されます。

○一人ひとりの様々な関わりを通じて、さらに市民相互の共感・理解が深まること、市民どうしのつながり（交流）が広がっていくことが期待されます。

②活動団体等

○文化協会や活動団体等は、市民の能動的な芸術文化活動を支える身近な受け皿となっています。引き続き、市民芸術祭だけでなく団体や市民の創作・発表といった能動的な活動機会の提供と、芸術文化を通じた交流・仲間づくりを促進していく役割が期待されます。

○文化協会は、所属団体の活性化や新規団体の育成等に向けた支援機能の強化が期待されます。

③教育機関等（幼稚園・保育園、小・中学校・高等学校）

○教育機関等（幼稚園・保育園、小・中学校・高等学校）では、芸術文化が次世代を担う子どもたちの成長に果たす役割の重要性を認識した環境づくりや、課外活動等を通じた様々な芸術文化を鑑賞・体験する機会の創出など、家庭との連携・役割分担を図りながら、子どもたちの芸術文化に対する興味・関心と敬意を育んでいくことが期待されます。

④専門家・指導者等

○専門家・指導者等は、自身の創作発表等を通じて、市民が芸術のすばらしさや本質を感じることができる機会の創出や、市民や学校での芸術文化活動に対する支援、次世代の芸術文化振興の担い手の育成などの役割を発揮していくことが期待されます。

⑤地域

○身近な地域では、芸術文化に関わる活動を通じて、地域住民の交流を深めるとともに、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりに貢献していくことが期待されます。

⑥企業等

○企業等においては、社会貢献活動の一環として、地域の芸術文化活動に対する支援が期待されます。その組織力や情報発信力などから、行政等とは違った面での支援が期待されます。

⑦施設管理運営者

○施設管理運営者は、市の様々な芸術文化事業を展開する現場を担っており、管理する施設の適切かつ効率的な維持管理・有効活用、活動団体や専門家等と連携（協働）に基づいた鑑賞や体験のプログラムの充実、情報の提供・発信の充実など、ハード・ソフトの様々な面において、良質な芸術文化事業を提供していくことが期待されます。

⑧行政（御殿場市）

○行政（御殿場市）は、まちの芸術文化振興に関する施策の体系を整理し、実施していきます。芸術文化活動に取り組みやすい基盤づくりを総合的に進め、市民・団体等の主体的な活動・参画を促進していく役割を担います。

○国、県ならびに市内部の他分野との調整・連携を図りながら、芸術文化振興の幅広い施策展開に努めていきます。